



産後ケア利用プロセスの TEA 分析による インクルーシブケアとケア提供システムの開発

キーワード

産後ケア, 産後ケア提供システム, ペリネケア, 助産・医療思想史

研究内容

人口減少に転じた現代社会の様々な分野でダイバーシティへの対応が進み、産後の母親を支援する産後ケアのニーズは高まっています。産後ケアは、全国的に普及が進む一方で、ケア提供施設の不足や利用できるケアに制限があり、産後ケアを必要とする全ての人のケアニーズを充足できる段階にはなく、産後ケア及びケア提供システムの開発が急務です。

研究メンバーは、本学の付置施設である産後ケアサロンでの実践を通して、産後1年未満の女性の産後ケアニーズが多様であり、インクルーシブケアが重要であることを実感し研究に取り組んでいます。

現在は研究の第1段階として質的分析ツール TEA（複線経路等至性アプローチ）を用いて産後ケア利用プロセスを分析し、産後ケアニーズの多様性を可視化する産後ケアモデルの構築に挑んでいます。

関係論文、特許・著作物等の知財情報、連携の実績

- ・『活動報告—大学法人が開設した助産所におけるデイサービス型産後ケア事業』第79回日本助産師学会学術集会、（口頭発表，一般）2023.5
- ・産後ケア（通所型）事業受託
- ・令和3年度～入間市
- ・令和4年度～三芳町
- ・令和5年度～所沢市
- ・令和6年度～狭山市，飯能市，日高市

社会連携・産学連携の可能性

地域における産後ケアモデルの構築により、産後ケアニーズの分析やケア提供システムの最適化に対する提案